

第72回 朝活かみいち 記録

日時 17年7月6日木曜、7:00-8:00

場所 M's cloud(上市町文化研修センター1階)

テーマ てんかん持ちコピーライターの歩む道

～動画配信と目指せ

ちゃんねるマスターwith ダニ

進行役 松永悟始さん(コピーライター)

参加者 15人(町内7人)

▲はじめに

朝活かみいちで二回目の進行役を務めるはコピーライターの松永さんです。まずはじめに、自己紹介もかねて「皆さんの後世に向けて残すべきこととは何」の問いかけがあり、参加者は以下のように応えておられました。

- ・名を残す。
- ・子どもにたくす。
- ・仕事のこす。(業績を残す)
- ・のこしたくない。
- ・地球環境を残す(地球環境を守る)
- ・未来残す(未来をつくる)
- ・空家について、残すものについては残す。

▲動画配信の動機

進行役は昨年末から対談番組を企画して動画配信を月1-2回の頻度で実施しておられ、朝活かみいちのムバーでもゲストに何人か呼ばれておられます。

もともとは、16年9月の富山朝活の日曜版にて、進行役である水越浩之さんが動画の話題を提供されていた。これに影響を受け、3ヵ月後の12月に何となくやる気になり、実施に踏み切ったといいます。会終了後にま少し聞いたところ、積極的な何かがふつつつと沸いていたのかもしれない、と語っておられました。

▲動画配信様相

前置きの後の話題提供では、動画配信に関して自分の思いを皆さんと共に語っておられました。

(1)心境

カメラやマイクなしのほうが緊張していない。今回は緊張しまくりです。

(2)動画配信の楽しさについて：

参加者の皆さんに「それは何でしょう、あててください」と。参加者からの指摘は的を得ておりました。ただ、打ち合わせが一番とは誰も気づきませんでした。

- ・人との出会い、人から聞きだせる。
- ・準備段階の打ち合わせという雑談が一番楽しい。(自分がテンション高く別人になったかのようでは)

(3)配信の目的

打ち合わせ時の雑談の楽しさを皆さんに知ってい

ただきたいから配信しています。

(4)動画配信でつらかったこと、つらいこと。

必要以上に緊張することです。

開始や終了が決まりにくい時がつらいです。

(5)緊張の原因

カメラの前にいると必要以上に緊張します。

痛いところをつくコメントが緊張のもとです。

(6)動画配信して成長したと思うこと

カメラなれです。

ずうずうしく視聴者にコメントを要求できるようになりました。

相手のいいところを引き出せるようになりました。

(7)動画の構成としてテーマやゲストの選定

そのときの気分で行っています。

自分がしゃべりたいのが一番のポイントです。

それにあわせてのテーマやゲストという感じです。

(8)スタッフについて

田島さんには写真、高野さんにはカメラ関係を手伝っていただいています。また、もりきゅあさんにはBGM等で手伝っていただいています。

(9)やっていて感じる面白さ

相手にコメント求めて面白いものが帰ってきたときです。

▲フロアーとのトーク：70分からの感想や意見が続出

・誹謗中傷があると心配することが一般にあり。

→可能性はありますが、これまではなし。

動画配信先が限られているので、ありえない中小誹謗があると感じたら見ない。

・いつも対談ですが。

対談前提です。一人講演ではありません。

▲ワーク1 自分が作りたい動画番組について

参加者から寄せられたアイデアは次の通りです。

・障害者むけ
・視聴者と進行役の間を埋め、対話をするような感じなもの。

・ご先祖様との対談

・富山を学べること。観光を。富山人対象でいい。

富山の観光

・世界平和実現するために。ごく普通の方々参加

・高林のコミュニテイカフェ。カフェオーナーを対象とします。またコミュニテイカフェを知らない方をも対象に

・BGMの番組

・公開対談、二人で。周りの人が見える対談。

・自分に体験をベースに。

ある番組に呼ばれた。自分でシナリオ書いて。

家庭の省エネをテーマに。

番組終了後に主夫から反応が多々あり。

自分が精一杯やったことに喜び。

反応があれば、自分が一段と磨かれた。

- ・朝活がいい
- ・動画よりもいいものがある。
最近は初配信や動画配信である。
- ・可能性無限。脳科学などに関して。
- ・自分の人生を変えた人について。しかも人生変えた人の芋づる式に掘り起こして。
- ・毎回ミュージシャン。
- ・カクテルをもってコミュニケーションを視聴者と共に出来ないかと。

▲ワク2 1000年後について残したいこと

皆さんに問題説明して後は時間の関係上、自由歓談でということになりました。7ア-で聞かれた声をまとめてみますと;

- ・100年後でもたいていは悲観的なことを思うのが常。
- ・今の問いかけは、近未来といわず明日にも必要。
- ・天変地異はないでしょう。
- ・人間が進化するかどうか
- ・家族や町のスタイルは変わり、効率追求したひとつのモードになるかと。
- ・教育も学校スタイルではなくなってしまうかと。
- ・人とプレゼン機能や志向昨日も変わるのでは。例えば、コミュニケーション手段として、口や手の機能は扶養になり、脳電波だけでコミュニケーション可能となるとか。
- ・AI(人工知能)の登場で人は限られた人しか要らないなんてことになっては困る。
- ・人間が人間で存在しうるかどうか。ベーシックインカム(仕事は機会にさせ人は遊ぶ社会)到来を予測する方々がいるが、まずはありえない。人余り時代の到来か。

▲まとめ

松永さんが雑談というコミュニケーションを楽しんで動画配信で頑張っておられ、動画配信にまつわるいろんな話をされました。最後の締めくくりの一言として、動画配信文化を100年後まででなく1000年後まで残したい、とのことでした。松永さんのそんな語りには、自身の人間性が色濃く現れ、皆さんは大いに感動した次第です。

参加の皆さん、関係の方々、どうもありがとうございました。

